

平成17年度伊方発電所新燃料搬入計画書及び使用済燃料処理計画書の提出について

17.3.28  
原子力安全対策推進監  
(内線 2352)

- 1 本日、四国電力(株)から、安全協定に基づき、伊方発電所の新燃料搬入計画書及び使用済燃料処理計画書の提出がありました。
- 2 同計画書によると、輸送計画の概要は次のとおりです。

(1) 新燃料搬入計画

搬入数量	新燃料集合体 106体 〔うち1号機用 30体 2号機用 36体 3号機用 40体〕 【全てステップ2高燃焼度燃料】	
輸送回数及び時期	1回(平成17年7月~9月)	
輸送方法	伊方発電所専用岸壁まで海上輸送する。	
搬入元施設名	三菱原子燃料(株)本社製作所 (茨城県那珂郡東海村)	原子燃料工業(株)熊取事業所 (大阪府泉南郡熊取町)
輸送容器の型式	MFC-1型	NFI-V型
輸送容器の個数	43個	10個
輸送業者	(株)エヌ・エフ・ティ・エス	原子燃料工業(株)

(2) 使用済燃料処理計画

搬出数量	使用済燃料集合体 84体(うち1号機用 28体) (2号機用 56体)
搬出回数及び時期	1回(平成17年7月~9月)
輸送方法	伊方発電所専用岸壁から海上輸送する。
搬出先施設名	日本原燃(株)使用済燃料受入れ・貯蔵施設 (青森県上北郡六ヶ所村)
輸送容器の型式	NFT-14P型
輸送容器の個数	6個
輸送業者	原燃輸送(株)

なお、放射性固体廃棄物については、17年度の輸送計画はありません。

- 3 県としては、四国電力(株)から提出された新燃料搬入安全対策書及び使用済燃料輸送安全対策書について、「伊方原子力発電所環境安全管理委員会技術専門部会」および国(経済産業省および国土交通省)の意見を聞き、輸送の安全性を確認することとしています。

- 4 なお、平成16年度の新燃料等輸送実績は、次のとおりです。

- (1) 放射性固体廃棄物  
輸送を実施していない。
- (2) 使用済燃料  
輸送を実施していない。
- (3) 新燃料

搬入数量	新燃料集合体 102体 〔1号機用 44体(うちステップ2高燃焼度燃料 40体) 3号機用 58体(うちステップ2高燃焼度燃料 52体)〕	
輸送方法	伊方発電所専用岸壁まで海上輸送した。	
輸送完了日	平成16年8月4日	平成16年8月6日
搬入元施設名	三菱原子燃料(株)本社製作所 (茨城県那珂郡東海村)	原子燃料工業(株)熊取事業所 (大阪府泉南郡熊取町)
輸送容器の型式	MFC-1型	NFI-V型
輸送容器の個数	29個	22個
輸送業者	(株)エヌ・エフ・ティ・エス	原子燃料工業(株)